



先生のための夏休み経済教室2024
金融経済の学習での教科間・外部コラボをどう進めるか
東京都立農業高等学校 塙 枝里子

2024年8月20日

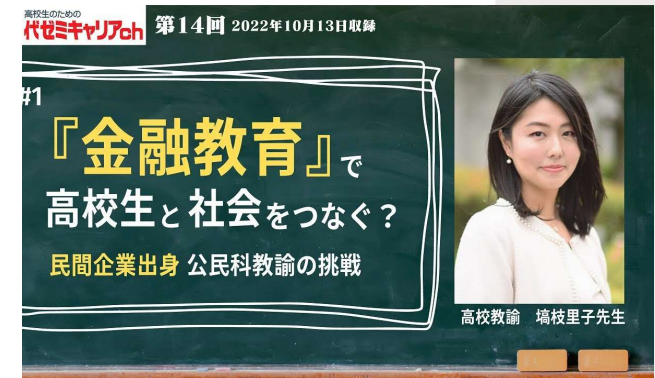
本日の流れ

1. はじめに
2. 教科間・外部コラボの進め方
3. 金融経済学習における実践事例
4. 今後の展望
5. おわりに

1. はじめに

略歴紹介

- 2005年4月 民間企業 勤務 (NTT→LM)
 - 2010年4月 東京都立多摩高等学校 勤務
 - 2012年4月 本格的に金融教育をスタート
 - ※ 2014年一般NISA開始
 - 2018年4月 大学院修学休業(経済学)
 - 2019年4月 東京都立農業高等学校 異動
- 現在に至る



金融経済教育が求められる背景

- ・ 収入が増えない
- ・ バブル崩壊以降
平均給与(実質)は
低下

金融経済教育が求められる背景

- 円安
- 緩やかなインフレ
- 『安いニッポン』

図版：朝日新聞デジタル2021年12月27日より転載

金融経済教育が求められる背景

その他にも…国内事情として

- ・ 超高齢社会、人口減少社会
- ・ 人口構造の転換に伴う財政・社会保障の問題
- ・ 2019年には**老後2000万円問題**が話題に
 - 先行きの見えない閉塞感がある中で
選挙権、成年年齢が引き下げられ
早期に**自立・自律**が求められるようになる

2. 教科間・外部コラボの進め方

金融経済教育の課題

- ・ 時間がない
- ・ 知識や指導方法の蓄積がない

「高等学校における金融経済教育の実態調査報告書（2023）」より

教科間・外部コラボが解決の糸口になり得る

課題解決に向けて

- ・ 各教科で分業・連携を試みる
- ・ 外部の専門機関の教材・人材活用をする

「高等学校における金融経済教育の実態調査報告書（2023）」より

教科間・外部コラボが解決の糸口になり得る

家庭科と社会科・公民科の金融教育 連携と分業のステップ

Step1

- ・ 家庭科と公民科の担当者が**情報交換**
- ・ 学習指導要領や教科書を一度読んでみる（金融分野以外でも重複分野多数）

Step2

- ・ 各教科が作成した年間指導計画・評価基準や方法を確認する
- ・ 自由度の高い授業で一部他教科教員が解説するなど**コラボ授業**を試みる

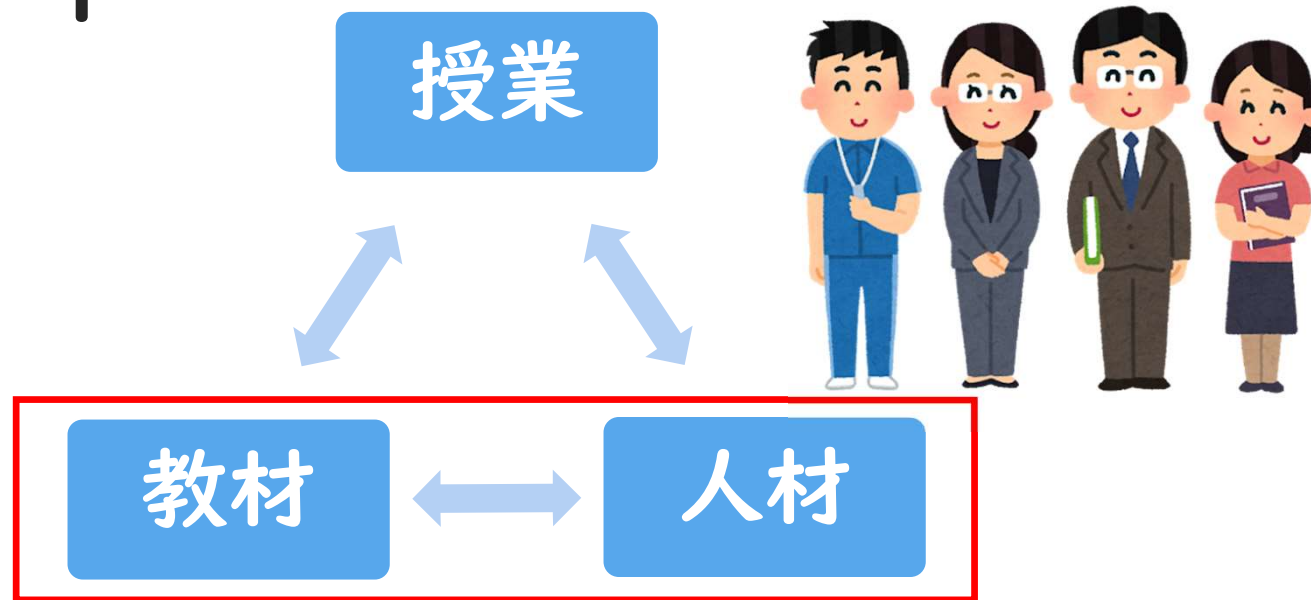
先行事例：東京都立国際高校公民・家庭科の連携によるコラボ授業

Step3

- ・ **カリキュラム・マネジメント全体における金融教育の位置付け**を検討する
- ・ 各教科や総合的な探究の時間などで分業・連携した授業を試みる

先行事例：宮崎県宮崎市立加納中学校 公民・家庭科の連携による起業体験学習

外部の専門機関の教材・人材活用のポイント



生徒の実態に合わせ、授業を主軸に構成
使える教材は多い (むしろ選ぶのが大変?)

3. 金融経済学習における実践事例

家庭科と社会科・公民科の金融教育 連携と分業のステップ

Step1

- ・ 家庭科と公民科の担当者が**情報交換**
- ・ 学習指導要領や教科書を一度読んでみる（金融分野以外でも重複分野多数）

Step2

- ・ 各教科が作成した年間指導計画・評価基準や方法を確認する
- ・ 自由度の高い授業で一部他教科教員が解説するなど**コラボ授業**を試みる

先行事例：東京都立国際高校公民・家庭科の連携によるコラボ授業

Step3

- ・ **カリキュラム・マネジメント全体における金融教育の位置付け**を検討する
- ・ 各教科や総合的な探究の時間などで分業・連携した授業を試みる

先行事例：宮崎県宮崎市立加納中学校 公民・家庭科の連携による起業体験学習

実践の概要

- 分業** ・ 金融商品を活用した資産形成にともなうリスクとリターンは1学年「家庭基礎」、社会保障分野は2学年「公共」で扱う（棲み分け）
- 連携** ・ 各単元の最後に公民科・家庭科の教員が各授業に出向き**コラボ授業**を行う
- 連携** ・ **全校生徒に講演会、1学年に講話**を開催
- 外部** ・ 各単元で金融庁や厚生労働省教材を活用

家庭基礎における単元計画

1 学年「家庭基礎」	
単元名：経済的に自立する（全5時間）	
単元を貫く問い：一生を見通した金銭管理や長期経済計画を立て、経済的に自立するためにはどうすればよいか。	
第1時	金融リテラシークイズ解説 18歳成年と契約（未成年者取消権とは）
第2時	多様化する販売方法（クレジットカードを中心に） さまざまな問題商法とその対処法
第3時	家計管理（給与明細の見方） 自己投資の重要性（奨学金シミュレーター）
第4時	単利と複利 金融商品の種類／リスクとリターンの関係
第5時 *	投資の三原則 長期・積立・分散（投資を継続できない課題とは）
【内容】定額購入法（ドル・コスト平均法）の学習において公民科教員が行動経済学の知見を示し、クイズを通して投資を継続することの困難さを体感するコラボ授業	

公民科における単元計画

2 学年「公共」	
単元名：財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化（全6時間）	
単元を貫く問い：一生を見通した金銭管理や長期経済計画を立て、経済的に自立するためにはどうすればよいか。	
第1時	少子高齢社会の現状と日本の人口構造の変化
第2時	財政の働きと課題 日本の歳入と歳出（プライマリーバランス）、国債依存度の推移
第3時	公平な税制とは何か考える 累進課税制度を題材として
第4時	社会保障の考え方／公助・共助・自助 日本の社会保障制度
第5時	社会保障制度の財源方式と社会のあり方を考える ～自助・共助中心か公助中心どちらの考え方が良いだろうか (2学期末考査：自助・共助・公助の優先順位とその根拠を400字程度の文章にまとめる)
第6時 *	複利的思考を身につけ、よりよい人生を生きよう
【内容】投資の社会的意義を確認するとともに、「家庭基礎」の内容を振り返り、「お金との向き合い方」を捉えることを通して、自らの在り方生き方を考察するコラボ授業	

詳細はこちらをご参照下さい

- ・「高等学校教科等連携実践事例集」（2024年6月）、金融経済教育を推進する研究会における高等学校教科等連携実践事例集制作部会
- ・「高等学校における金融経済教育の実態と実践事例—多忙化する教育現場から—」（2024年5月）、個人金融2024年春号



公民科・家庭科のコラボ授業が 全学年へ波及 ～数学・理科も協力







金融教育公開授業「ジェイソン流お金の増やし方」

1学年「人間と社会」特別授業 新時代のお金との向き合い方

教科横断的な視点からの教育活動の改善を図る
→ **カリキュラム・マネジメントの確立に寄与**

4. 今後の展望

本実践の成果と課題

-  • 棲み分けをしたことで単元理解が深まる
-  • **コラボ授業**によって教科横断的な視点を生徒自身が持つことで学習内容のつながりを意識させることができた
-  • ○○先生だから可能だった？（属人的）
-  • 金融リテラシー向上に関する効果測定が必要

5. おわりに

過熱化に教師はどう対峙すべきか

- いよいよ2024年8月金融経済教育推進機構（J-FLEC）が設立
- 金融経済教育 ≠ 投資教育を念頭に置く
- 一方、国民資産倍増計画の潮流を好機と捉え金融経済単元で生徒の興味・関心を引き出すことが可能ではないか